



近日  
開催

2024年9月7日 土 8日 日

飯田市役所 C 棟 3 階会議室 (オンライン併用)

主催:飯田市歴史研究所 共催:飯田市教育委員会文化財保護活用課

二〇一四年に国史跡に指定された「恒川官衙遺跡」は古代伊那郡の役所（郡衙）跡で、正倉の跡や大量の硯などが出土しています。信濃国南端に位置し、都に近いこの郡衙には、都の情報や物がいち早く伝えられる一方で、都への貢納物の集積地となり、また牧の経営に携わるなど、信濃国の中でも重要な役割が与えられていたと思われます。今回の研究集会では、文献史学・建築史学・考古学の視角からこの遺跡を取り上げ、古代律令国家のもとにあった伊那郡衙や下伊那の姿を考えます。

◆ 9/7 【研究報告】 10:00 - 17:00

開会行事 / 趣旨説明

講演 = 田島公 (東京大学名誉教授 / 飯田市歴史研究所顧問研究員)

報告 = 羽生俊郎 (飯田市教育委員会文化財保護活用課)

講演 = 海野聡 (東京大学)

報告 = 田口博人 (座光寺 歴史に学び地域をたずねる会)

質疑応答 / 意見交換

◆ 9/8 【現地見学会】 9:30 - 12:00

見学先 飯田市考古博物館 / 恒川官衙遺跡

定員 45名 (応募者多数の場合、1日目出席者を優先し抽選)

集合 9:15 飯田市役所C棟玄関前 (観覧料160円をご持参ください)

◆ 資料代 500円 (高校生以下無料)

※ お申し込みは、次の情報を添えて歴史研究所 (電話 / FAX / メール) まで

①氏名 ②1日目受講方法 ③2日目参加有無 ④電話番号

⑤郵便番号・住所 (オンラインのみ)

《締切》会場:9月5日(木)、オンライン:8月23日(金)

第21回飯田市地域史研究集会

10周年記念  
国史跡指定

恒川官衙遺跡研究の最前線

— 浮かびあがる古代伊那郡の役所〈伊那郡衙〉 —